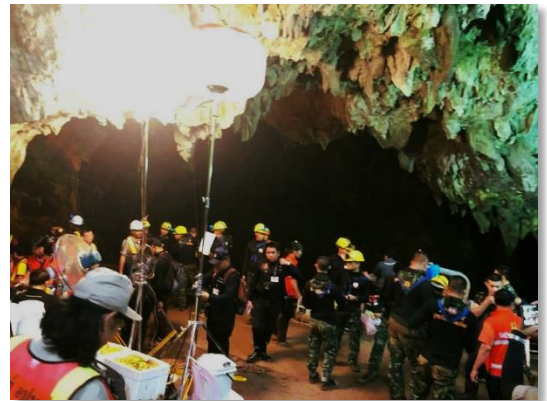


タイ・タムルアン洞窟 少年ら 13 名救出現場で ニッセンケン開発支援の蓄光素材 “ルナウェア” が活躍

世界中の救助専門家が集結する中、日本企業 コドモエナジー株式会社 も

タイのサッカーチームの少年ら 13 人が奇跡の生還を果たした、チェンライ県タムルアン洞窟での遭難事故。行方不明となった6月 23 日から、全員が救出された7月 10 日まで、世界中が固唾をのんで動向を見守っていました。ニュースは困難な状況を伝えるものばかりでしたが、世界各国から救助の専門家が集まり、対応している場面に、一縷の希望を感じさせてくれました。まさにその中に、ある日本企業の姿がありました。大阪府に本社を置く**コドモエナジー株式会社**、蓄光素材のメーカーです。



救出路を 緑の光で照らした 日本の蓄光素材

同社はタイ政府に対し、救出路の目印として**蓄光素材ルナウェア**をつかった避難誘導標識等を洞窟内に設置することを提案。600 個を無償で提供し、実際に利用されました。電気が届かない真っ暗な洞窟の中で、自然発光するルナウェアが、ダイバーの皆さんの道しるべとなったのです。



今回『水の中でも光る』ことが特に大きな効果を発揮したそうです。

蓄光素材ルナウェアの開発にあたっては同社のご依頼で、**ニッセンケン防災・安全評価グループ**が協力させていただいています。間接的にせよ当財団のノウハウが人命救助に役立ったことは、感慨深いものがあります。

想像を超えた自然災害が頻発する昨今、避難・救助に際し、視認性の高い素材をつかった製品が注目され、これらを評価する試験がますます重要になっています。今後も第三者評価機関として、信頼される製品作りのお手伝いをさせていただきたいと考えています。



写真提供：コドモエナジー株式会社

(上) 洞窟入り口付近に集まる各国の救助専門家チーム

(中) 救出路となった洞窟内の水中に、道しるべとして設置されたルナウェア製品が緑の光を放つ。ダイバーも、自分の居場所が周囲から分かるよう身に付けている

(下) タイ現地の救助対策本部に駆けつけたコドモエナジーの皆さん